

みらいサポート こっちゃん 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 6月 15日

事業所名 みらいサポート こっちゃん

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	未就学児と放デイの児童を空間で分けて活動している(2.47㎡は確保できている)また、室内で長時間過ごすことが無いよう工夫しています。	コロナ渦の中で10人の児童が集まると密に感じるとの意見もあったため、できる限りの感染症予防対策と密回避に努めます。
	2	職員の配置数は適切である	40%	60%	外出時など4輪バギーを使用している	基準は満たしていますが、外出時などには不安の声もあるため、できる限り加配置できるよう努めます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	80%	20%	視覚的支援を取り入れている。	もう少し個々の児童に合わせた工夫が必要だと感じるため、改善していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日、室内、棚やおもちゃなどの使用した物品の滅菌消毒の作業を行っている。また、心地よく過ごせる空間となるよう刺激を少なくしている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	40%	60%	朝終礼の他、定期的な職員会議で振り返り確認などを行っている。引継ぎ簿だけでは全職員にまで広く参画することが難しいときがあると感じる。	引継ぎ簿以外の方法も検討しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	実施しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	80%	20%	保護者評価、事業所評価を共に行い改善に努めている。集計の結果表をホームページにて公開している。	公開していることを知らない職員がいたため、周知確認してもらうよう通達した。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	80%	20%		全事業所年に1回実施しています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	今年はリモートでの参加となっていますが、職員全体が受けられるよう努めています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	定期的な面談の他、送迎時や連絡の取りやすいツールを利用し、ニーズにお応えできるよう努めています。また、状況報告や定期的なモニタリングで計画の見直しなど行っています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	60%	40%	外部の発達検査結果で発達状況の把握に努めています。	専門的な検査キッドを用いて検査できる職員がいないため、アセスメントツールを使用した検査は難しいが、当事業所のアセスメントを用い発達状況を図ってまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上	100%	0%	保護者さまへわかりやすく設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	グループ活動の中にも個々の児童に必要なスキルが取得できるよう工夫している。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	年間活動行事を主にミーティングする時間を設けチームで意見を出し合い立案している。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	子供たちの状態や季節気候などに配慮し、工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	100%	0%	個々に合った活動を提供できるよう計画の作成を行っている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝礼にて前日の振り返りや、当日の打ち合わせができるよう余裕を持たれた時間で出勤ができるよう努めている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	80%	20%	一日の振り返りや反省などをまとめ話し合っている。	役割分担はもう少し具体的な担当ができるよう改善します。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%	連絡や引継ぎ、バイタルや排せつなど個々に記録しています。	支援の検証や、改善については事業所内でのミーティングで行っています。パートタイム職員も参加のし易い日時の設定を心掛けます。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	三ヶ月毎に状況報告を作成し報告や見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	75%	25%	担当職員を参画できている	コロナかで担当者会議など集まるのが難しくなっているため開催の見送られ簡素な内容になっている。リモートなどを使用し実現できるようにこちらからも積極的にアプローチするなど行っていきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	50%	50%		今後さらなる連携を行っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	連携している。	もっと担当者会議などに巻き込める行政であってほしい。市町村で違いが大きい。相談支援員さんと事業所間や関係機関と事業所間でも個人情報保護などを理由に情報提供してもらえないこともあるため、共有や相互理解が図りにくい。事業所としてできる限り相互理解や情報の共有ができるようアプローチに努めます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	60%	40%		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	25%	75%	コロナ流行により中止となっているが、支援方法や様子など見学などさせてもらい助言など受けている。	昨年よりコロナウイルスの流行で見学などの実施ができておらず専門機関との連携も難しい状況ではあるが、専門機関配信の研修動画などで研修を実施しています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	25%	75%	地域の公園へ出向き機会を設けている。	こども園や幼稚園との交流は、コロナ渦で実現はより難しく行いにくいいため、今後も地域の公園や施設などでの活動を取り入れ交流の機会を図っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	25%	75%	地域の連絡会へ参加している。	※現在はコロナウイルス感染症流行により休止している。パート職員も参加ができるよう調整していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時、来所時の他、電話やメールなど利用しやすいツールを使って児童の様子や日々の変化、発達の状況、課題などの共通理解に努めている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	75%	25%	できる限りアドバイスや情報の共有や提供ができるよう努めている。	ペアレントトレーニングのプログラムは行っていないが、対応方法などのアドバイスは随時お受けし行っている。
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時の他、問い合わせ時に、丁寧な説明に努めている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	ガイドラインに基づき作成、丁寧な説明を心掛け同意を頂戴している。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時の他、連絡帳、LINEなど使用し易いツールを利用し対応しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	80%	コロナかで昨年より開催できていない	今後、感染症予防対策を徹底できる環境整備を行い開催できるよう検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	瞬時にスタッフ間で共有・対策を考え保護者へ説明・謝罪に努め迅速かつ適切を心掛けている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%	写真公開サイトで活動の様子などの掲載を行っている。	本年6月より廃刊にしていたこっちゃん便りを復活させ、発行していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	60%	40%	セキュリティのあるネットワークで管理している	在職している職員であれば誰でも閲覧できる状況に、不安と感じる職員もいます。各職員各々アカウントを作成しており、退職する職員がいた場合はそのアカウントを削除しています。また、詳細な個人情報などは管理者のみ閲覧できるように設定しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵や写真などの視覚カード、ホワイトボードなどを活用し、意思の疎通に努めています。保護者・職員間でも、使いやすいツールを使用し密な意思疎通に努めています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%	地域住民にも参加してもらえるよう、自治会へ協力の依頼をしている。	昨年度の夏祭り時に参加してもらえるよう前年より進めていたが、コロナ流行により中止となっています。コロナ流行が収まり次第参加に向けて進めていきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	80%	20%	すぐに閲覧できるところへ掲示をしています。	マニュアルはいつでも確認閲覧できる場所に掲示しています。保護者さまよりもどちらともいえない回答あり、今後は訓練方法やマニュアルの内容の報告を行っていきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%	他ケースを想定し訓練しています。	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時の他、服薬内容変更毎に薬剤情報など必要な情報を提供してもらっている。てんかん発作のある児童の保護者と対応や近々の状況など聴取し周知している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのある児童がいる際には保護者さまより情報収集し、必要があれば医師の指示書を頂く準備をしている。	該当の児童はいないが、医師の指示書を頂けるよう準備していきます。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリや事故については、報告書の作成並びに日々話し合い意見や共有に努めている。 また、月に一回の事業所内会議でも事例をもとに改めて共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	60%	40%	社内外ともに職員が参加できる研修の機会を設けている。	社外への研修は管理者児発管が参加し、その内容を周知しています。 事業所内では、年計画に沿って研修している。 社外の研修にも責任者以外の職員が参加できるよう予定組を行っています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	40%	60%	該当者なし。	現在、実際にやむを得ず身体拘束を必要とする児童はいないが、必要とする児童がいる場合は保護者への十分な説明と、情報の共有や連携、計画への記載を行います。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。